

はるか 悠

多気町郷土資料館だより

2026.4.1

115

たき



写真1 銅造菩薩形立像 原寸大(像高11cm) 個人蔵



ししんの里 多気
文化財 〱〱〱



写真2 木造神像 金剛座寺蔵



写真3 木造神像男神坐像・女神坐像 御霊神社蔵



写真4 鍔口 金剛座寺蔵

※ 次の頁でそれぞれの文化財について説明しています。

ししんの里を訪ねて 河田古墳

昨年、12月7日に現地見学会として「ししんの里を訪ねて」を開催しました。第1回は、「ししんの里」(2頁参照)のうち、「進化」し続けてきた里がテーマで、訪問地は河田古墳です。令和6年度より進められ、昨年度で終了した河田古墳発掘調査の現場を多気町教育委員会担当者の案内で見学しました。

群集墳(小規模な古墳が密集して造られたもの)である河田古墳群は、櫛田川や伊勢平野を望む標高40〜50メートルの丘陵地に位置しています。いくつかの尾根に分かれた地形によって古墳群の分布はブロックをなしており、



河田古墳 空中撮影写真

そのブロックを支群として、AからJまでの呼称が付けられています。

今回の河田古墳発掘調査は株式会社日新三重工場(河田)の拡張・増設工



見学の様子

事に伴い、実施されました。調査対象となったのはI支群で、10号墳、11号墳、1号墳、6号墳、9号墳を順に見ていきました。これらの古墳はほぼ6世紀から7世紀初め頃までのものとみられています。見学時点ではまだ不明な部分が多くありました。古墳の詳細な時期や規模は全体の測量や出土遺物の実測・観察が終了してから明らかとなります。

多気町にこれほど大規模な古墳があったことを初めて知ることができ良かったという参加者の感想もあり、現地でしかわからない古墳の立地環境や規模の大きさを体感していただきました。

多気郷土資料館春季企画展 休催のお知らせ

令和8年度は、例年4月〜6月に開催している春季企画展を休催とし、**展示室は令和8年7月16日まで閉室**します。

展示休催期間に、収蔵資料の保存・活用がしやすい環境を整えるために、農具等の大型道具の移動、収蔵資料の点検、整理等を実施します。

開館日(火曜〜金曜、9時〜16時)は、図書資料等の閲覧・調査、問い合わせには対応いたします。ただし館員が不在の場合もありますので、あしからずご了承ください。

展示休催時の休館日：月曜・祝日・土曜・日曜

問い合わせ：0598-38-1132

『悠』令和8年1月号4頁「ちよつとひとこと」欄に誤りがありました。左記のとおり、訂正し、お詫び申し上げます。
11行目(誤)阿南町 ↓(正)阿南市



出土遺物の一部

鉄鍬や須恵器の杯、壺、土師器の甕等が出土した。

「ちよつとひとこと」欄へのご投稿をお待ちしています。郷土資料館についてのご意見、郷土の歴史に関すること、昔の暮らしの思い出などなんでも結構です。400字詰め原稿用紙1枚程度でお願いします。